



# 啓明小だより

中野区立啓明小学校  
校長 中村明子  
〒165-0034 東京都中野区大和町1-18-1  
電話 03-3330-2325  
FAX 03-3330-2326  
HP <http://nk-keimei-e.la.coocan.jp>  
No. 566号 9月号 発行 令和3年9月1日

## 「東京オリンピックから学んだこと」

副校長 山田 研二

この夏は、東京オリンピックをテレビで観戦する機会が多くありました。特に普段あまり目にすることのない競技を見ることができ、自分の中で新しい発見があり楽しむことができました。スポーツにはフェアプレーの精神があります。殊に今回のオリンピックでは、「多様性と調和（一人ひとりが互いを認め合う）」を掲げています。試合後に勝負した選手、チーム同士がお互いの健闘をたたえ合う光景をこれまでもたくさん目にしてきましたが、今回のオリンピックではそれだけではなく、試合中にメダル争いをしている相手と相談をしている場面を見て、自分の中ではとても新鮮でした。

それはスポーツクライミングでの出来事です。ここ数年、日本でも人気が出てきた競技で、ほぼ垂直に近い大きな壁を登っていきます。体力、技術だけではなく、どのようにその壁を登っていくか、瞬時に想像力も必要とされ、私自身も登山が好きで少し体験したこともあり、今回注目していた競技でした。



さて、この競技の中でオブザベーションという作戦タイムがあります。2分間程度、選手たちが個々に課題となる壁を観察し、どうトップ（頂上）まで登っていくか、そのルートを考える場面があります。もちろん一人で考える選手はいるのですが、オリンピック決勝でメダル争いをしていた、日本の野中生萌選手はライバルである外国の選手と何やら相談をして戦略を協議している様子がテレビに映っていました。ある意味、敵に塩を送るとも捉えられますが、もしかしたら、メダル争いだけでなく、とにかくその課題をクリアすることが選手たちにとって一番大切なように感じました。そのためにライバル同士で最善策を話し合い、各々が大きな壁に挑んでいました。

このことは学校生活において子供同士の学び合いの場面でも同じだと思います。ややもすると相手との優劣を感じたり、自分さえよければと思ったりしまいがちになります。しかし大切なことは、めあてに向かうときは、自分だけでなく周囲の友達も達成できるように、相手を受け入れ、よりよい考えを見付け、課題を解決していくことなのだと思います。そのためにも学び合いの中で子供同士の人間関係を豊かにしていくことが大切だと改めて思い返しました。今はパラリンピック大会が行われています。こちらからもいろいろな角度から観戦して学んでいきたいです。

夏休みが明け、授業が再開しました。今月下旬には啓明スポーツフェスティバルが予定されています。子どもたちもオリンピック・パラリンピックから学んだことを生かし、フェアプレーの精神で自分のベストを発揮してほしいものです。この行事の中で一人ひとりが成長できるように指導し、見守っていきます。コロナ感染対策も引き続き講じていきますが、保護者、地域の皆様にも子どもたちの頑張りが届けられるように努めてまいりますので、今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願いします。

## 9月の生活目標

### 「生活のリズムを整えよう」

生活指導部 大塩 依理子

今年度も新型コロナ感染対策が続いた中の夏休みとなりましたが、普段できないことに取り組みながら、いろいろな経験をして楽しく過ごせたことと思います。さて今日から前期後半が始まります。生活リズムが崩れてしまった子どもたちもいるのではないのでしょうか。前期後半は、4月からの学習をまとめる時期でもあります。子どもたちが朝から集中して学習に取り組むためにも「早寝、早起き、朝ごはん」を習慣付けたいものです。スムーズに夏休み明けの学校生活に戻れるよう、ご家庭でのご協力をお願いします。